

沖縄県では、日々新型コロナウイルスの感染者が増え続けています。いつ、感染者がでてもおかしくない状況です。集団生活では、クラスターが起きやすいです。感染者が出たとしても、最低限に抑えられるように日頃の感染症予防の徹底をしましょう。万全な対策をして冬休みを過ごしてください。

●健康観察シート記入（毎日、体調チェック）

冬休み中も、毎日行い、記入する。自分の健康は自分で管理できるようにする（冬休み明け、学校に提出します。）

●症状がなくとも、マスク着用を（集団の場面、外出時など）

マスクには、ウイルスの拡散を抑える効果（広がりを抑える）、ウイルスの吸い込みを減らす効果があります。

★学校で感染者が出た場合、保健所によると1m以内で15分以上会話をした場合にマスクを着用していたかいないかで、濃厚接触者を選別する理由のひとつになりえること。（12月現在では）

※他の状況にもよります。

●手洗いについて

感染症の基本は、手洗いです。手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に。

<手洗いのタイミング>

帰宅時・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時・食事の前後・清掃の後・トイレの後・共有のものを触った時



●3つの密を避ける、家の中でもこまめに換気を

- ① 空気の入替えのできない場所、窓のない場所を避ける。
- ② たくさんの人が集まる場所を避ける。
- ③ 間近で会話や発声をする場面を避ける。



●発熱や風邪症状がある場合

2日以上、発熱や風邪症状が続く場合は、コールセンターに相談してください。

新型コロナウイルス感染症 相談窓口 TEL：098-866-2129（24時間対応）

だれだって、いつだって、感染しうるから 思いやりの咳エチケット、差別や偏見は許さない

参考：国立成育医療研究センターHP 新型コロナウイルスと子どものストレスについて

<http://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>（新型コロナウイルス感染症の拡大で抱える、子どもや大人のストレスとの向き合い方がわかりやすく解説されています♪）

だれだって、いつだって、感染しうるから 思いやりの咳エチケット、差別や偏見は許さない

マスクには、ウイルスの拡散を抑える効果（広がりを抑える）、ウイルスの吸い込みを減らす効果があります。

学校で感染者が出た場合、1 m以内で15分以上会話した場合にマスクを着用していたかで濃厚接触者を選別する理由になるとのこと。（今のところ保健所より）

※マスクをした上で「新しい生活様式」を併用していくことが大事になってきます。